

多摩市の 生涯学習について

本日のワークショップの実施目的

誰もが自由に学び、成果を生かせる社会の実現のため、市民の皆様の視点から、多摩市で誰もが生涯学習活動に取り組むうえでの課題と解決のアイデアを話し合ってください。

～いただいたアイデアは～

⇒令和3年度からはじまる

第4次多摩市生涯学習推進計画の策定に活かします。

（現在、第3次の計画が進行中です。）

生涯学習とは

生涯学習の理念（教育基本法第3条）

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

教育基本法（平成18年改正）より

生涯学習を推進する意義

「一人ひとりが豊かな人生を送ること」

それが、生涯学習の最終目標です。

豊かな地域を築くために、社会性と公共性を帯びた学習活動に対して、応援し、支援し、時には働きかけていくことが、現代社会において自治体が行う生涯学習推進施策の意義といえます。

生涯学習推進の これまで

背景

多摩市では、昭和46年に多摩ニュータウンの入居が始まり、一時期に新しい住民が増えたため、ニュータウン地域の住民同士のつながりづくりをゼロから始めなくてはならないという状況がありました。



課題への対応策としてハード、ソフトの両面から人と人とのつながりづくりのための取り組みを推進してきました。

生涯学習推進計画の策定

そうした地域特性もあり、平成3年に他の自治体より早い時期から生涯学習推進計画を策定し、生涯学習を手掛かりとした豊かな地域づくりを推進してきました。



その後多摩市における生涯学習の推進状況や社会潮流等をふまえた見直しを行い、現在では「第3次多摩市生涯学習推進計画」により生涯学習の推進を行っています。

生涯学習推進の 現在

第3次生涯学習推進計画

計画には3つの目指す方向があり、それに紐づく各種の具体的な取り組みがあります。

目指す方向 1	具体的な取り組み（例）
人がふれあい、 信頼の絆が広 がるまち	●図書館・公民館、学校跡地等の有効活用 ●サークル・団体の立ち上げや運営支援 ●「居場所づくり」の促進・支援 ●世代別に「孤立状態にさせない」取り組み

第3次生涯学習推進計画

計画には3つの目指す方向があり、それに紐づく各種の具体的な取り組みがあります。

目指す方向 2	具体的な取り組み（例）
人と人がつながり、助け合い、支え合うまち	●個人、団体をつなぐ コーディネートの仕組みづくり ●国籍や世代、地域を超えた交流の促進事業 ●相談事業、支え合い事業、 ボランティアセンター事業 ●学び合い、支え合いのシステムの構築

第3次生涯学習推進計画

計画には3つの目指す方向があり、それに紐づく各種の具体的な取り組みがあります。

目指す方向 3	具体的な取り組み（例）
人や団体が相互に関わりあいながら、協力して地域づくりを進めるまち	●市民団体、地域・大学との共同・連携 ●市民参加の機会・仕組みづくり ●地域による学校教育支援 ●人材コーディネートなど、市民が活動するための基盤づくり

市民の生涯学習活動の現況（アンケート結果）

どのくらいの人が生涯学習に関心を持っているか？

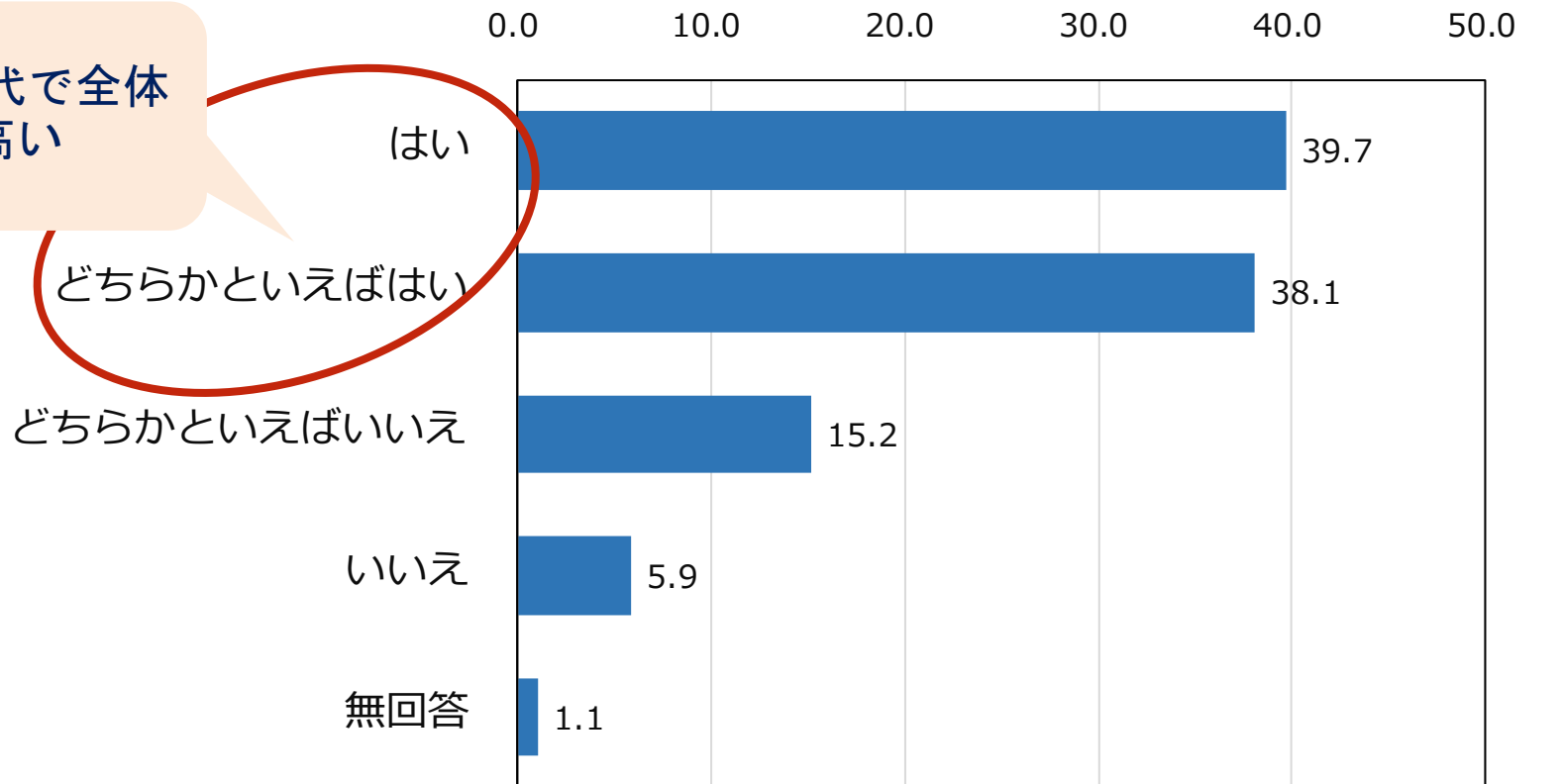
生涯学習について関心がある人が77.8%となっています。

あなたは、『生涯学習活動』について関心がありますか。（1つに○）

n=441

(%)

10・30歳代で全体
より高い



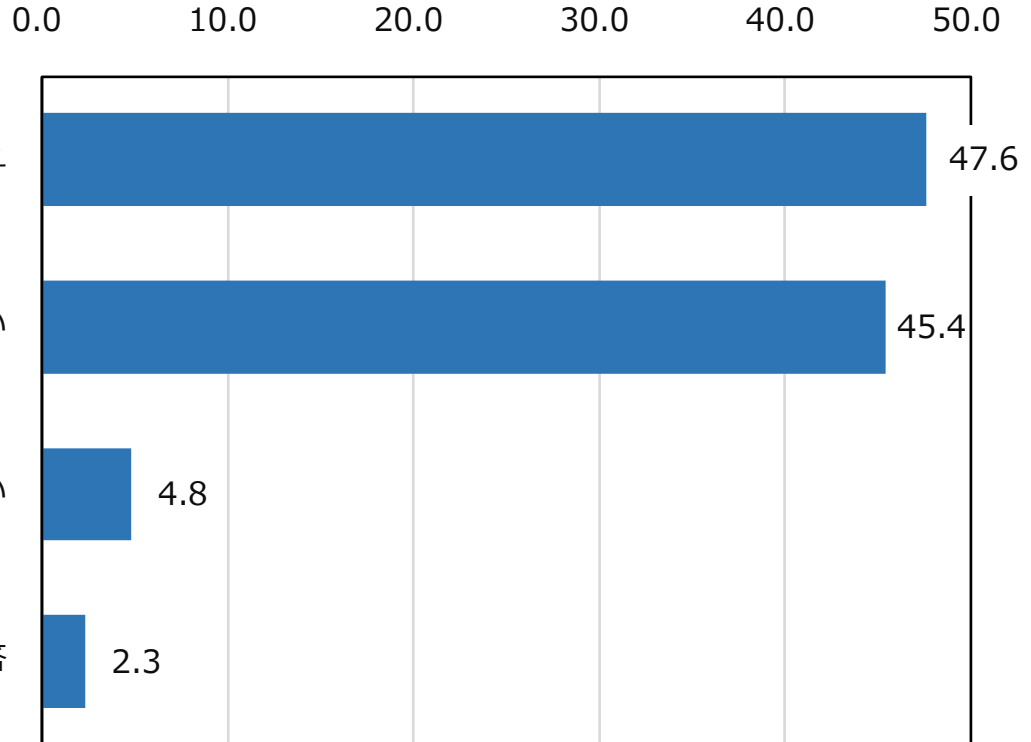
市民の生涯学習活動の現況（アンケート結果）

どのくらいの人が生涯学習活動に参加しているか？

生涯学習活動に参加していない人が47.6%で参加している人を上回っています。

あなたは、この1年間くらいの間に、『生涯学習活動』をしたことがありますか。（1つに○）

n=441
(%)



20～50歳代で3割台と低い一方、60・70歳以上の年代で5割を超えて高い

市民の生涯学習活動の現況（アンケート結果）

どのように生涯学習に参加したか？

「サークルやグループなどでの活動」、「民間の教室・講座」、「本を読んで」が高くなっています。

n=200

あなたは、どのように『生涯学習活動』をしましたか。（○はいくつでも）

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 (%)

サークルやグループなどでの活動

50・60歳代で5割を超えて高い

民間の教室・講座

本を読んで

ウェブサイトで検索・閲覧して

30歳代で5割を超えて高い

市主催の教室・講座

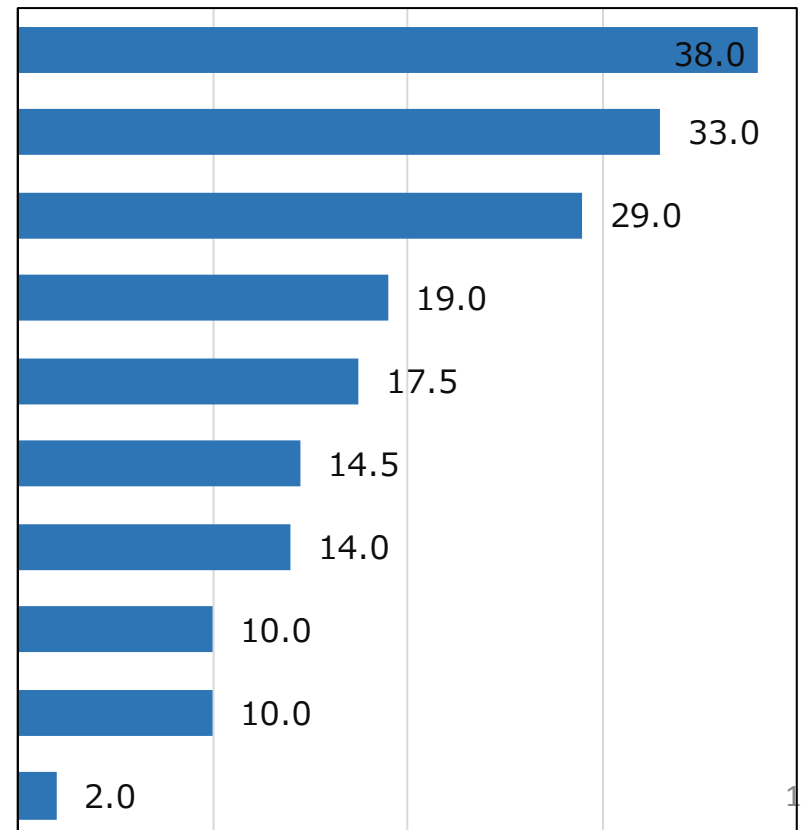
コミュニティセンターの行事

その他

ラジオ・テレビの講座

市内・近郊の大学の公開講座

無回答



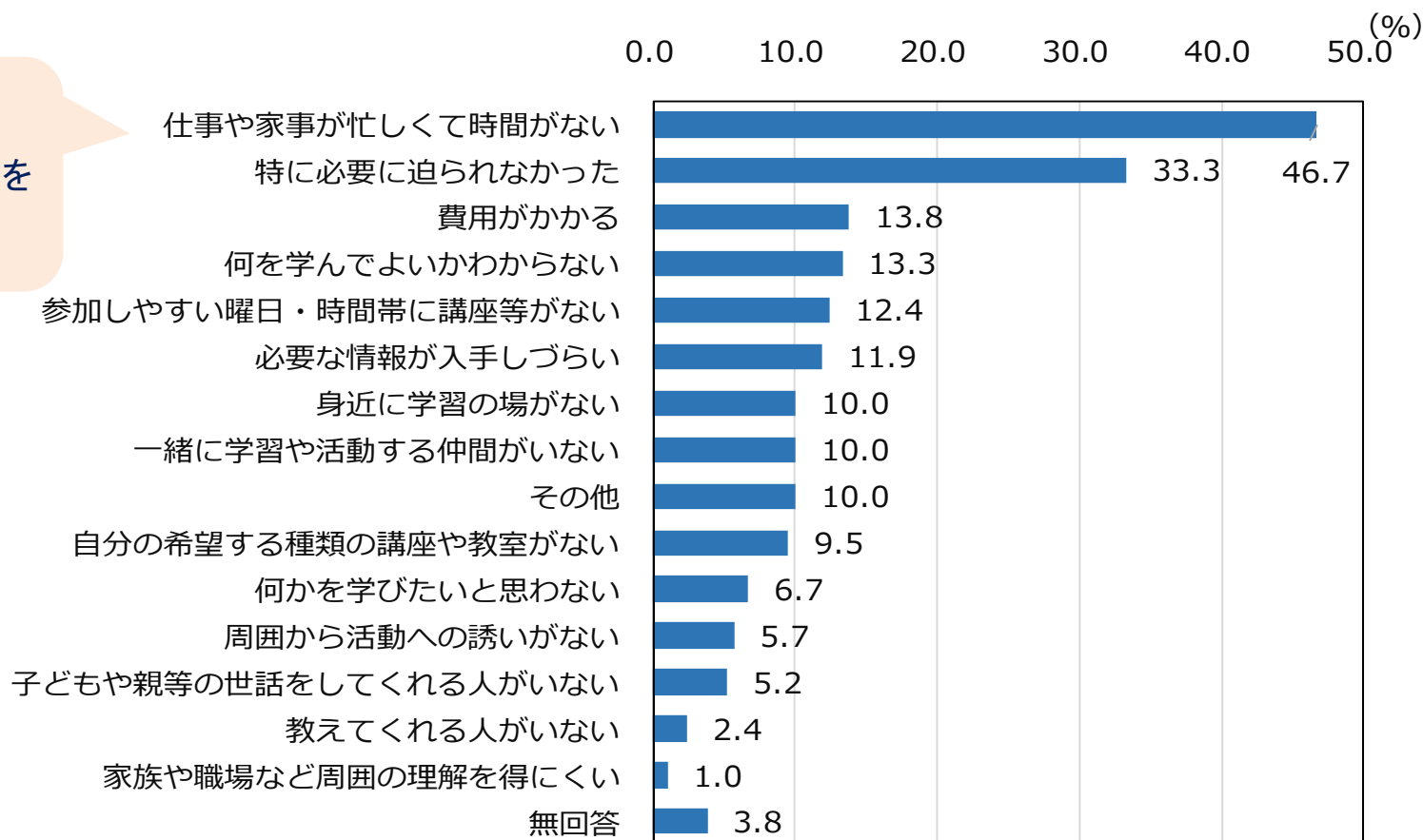
市民の生涯学習活動の現況（アンケート結果）

生涯学習活動に参加できなかった理由

「仕事や家事が忙しくて時間がない」、「特に必要に迫られなかった」が特に高くなっています。

n=210

過去1年間で、あなたが『生涯学習活動』をしなかった（できなかった）理由は何ですか。（○はいくつでも）



20代で8割、
30～50歳代で5割を
超えて高い

市民の生涯学習活動の現況（アンケート結果）

今後参加してみたい生涯学習の種類

「健康・スポーツに関すること」、「趣味・芸術的なこと」、「教養的なこと（歴史、文学、科学、語学等）」が高くなっています。

n=441

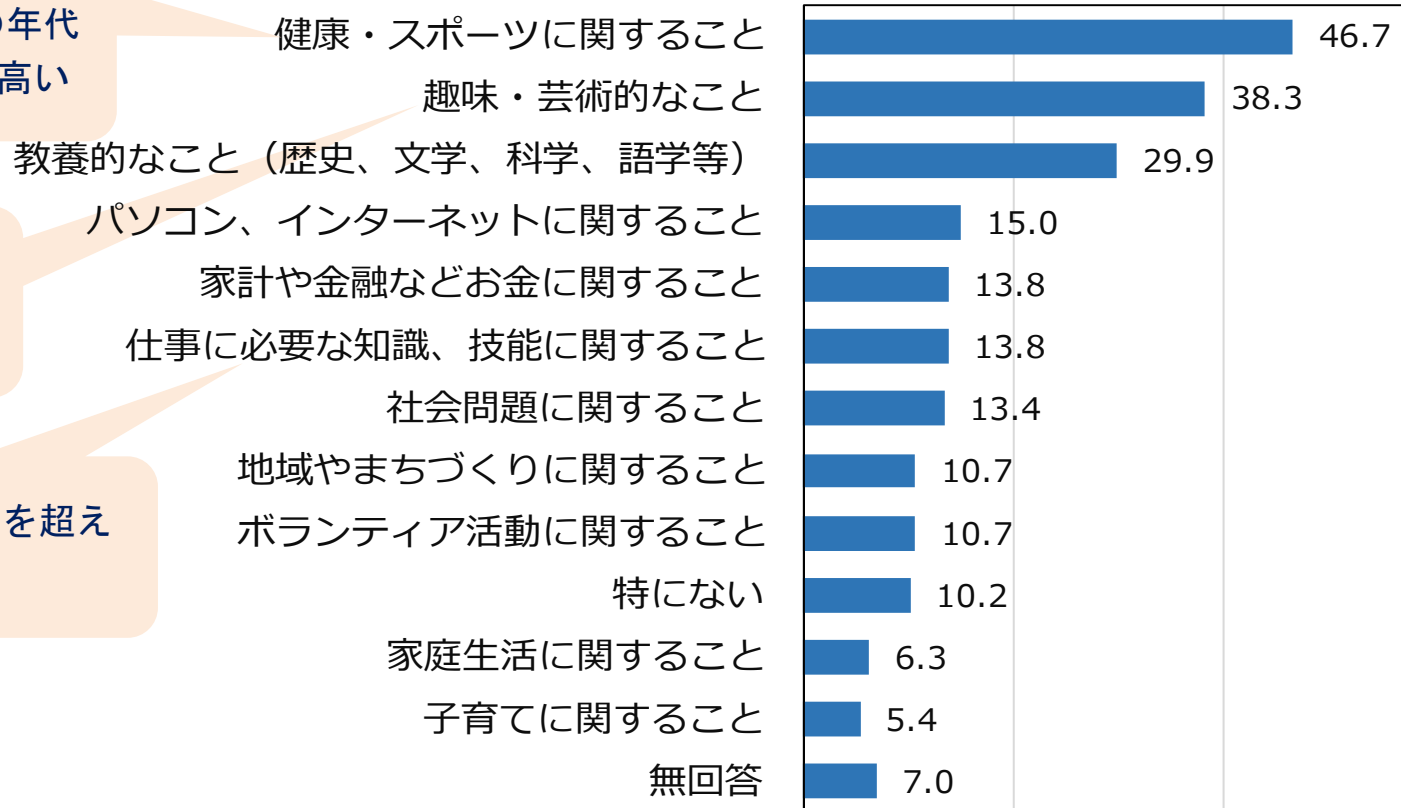
今後どのような『生涯学習活動』がしたいですか。（○はいくつでも）

0.0 20.0 40.0 60.0 (%)

60・70歳以上の年代
で5割を超えて高い

10～20歳代で6
割を超えて高い

30歳代で3割を超え
て高い

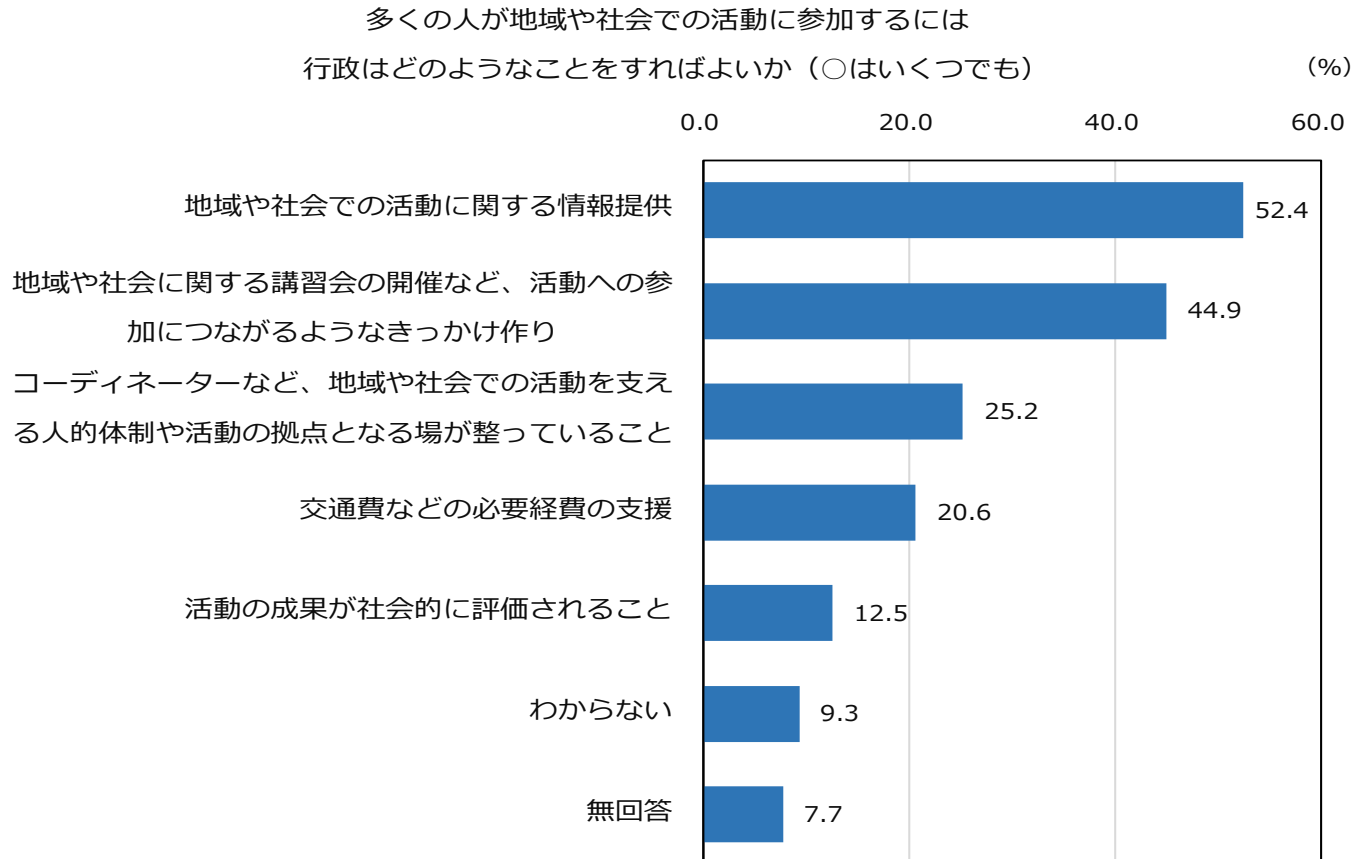


市民の生涯学習活動の現況（アンケート結果）

多くの人が地域や社会での活動に参加するには 行政はどのようなことをすればよいか

「情報提供」「きっかけづくり」「活動を支える人材、活動の場」「経費の支援」が上位に挙がっています。

n=441



市民の生涯学習活動の現況（アンケート結果）

生涯学習活動に関わる取り組みの認知度

すべての取り組みについて、「知らなかった」割合が高くなっています。

n = 441	参加・利用したことがある	知っているが参加・利用したことはない	知らなかった
出前講座	5.9%	10.9%	80.3%
生涯学習市民バンク	0.7%	10.0%	85.9%
わがまち学習講座	0.9%	10.4%	85.3%
市民企画講座	2.0%	10.2%	84.4%
地域デビュー手引書	1.6%	7.0%	88.7%
多摩ボランティア・市民活動支援センター (通称：多摩ボラセン)	5.2%	25.9%	65.8%

生涯学習推進の これから

近年の社会動向①

①人口減少社会の到来と少子高齢化の進行

（多摩市でも少子高齢化・人口減少が進む・・・）

②先行きを楽観視できない経済情勢

（戦後最長の景気回復一方、消費税率引き上げや2020
オリパラ後の不安・・・）

③情報通信技術の進展がもたらす社会構造変革の可能性

（ICT、IOT、AI、ビッグデータ、SNS・・・）

近年の社会動向②

④価値観・ライフスタイルの**変化・多様化**がもたらす社会・地域への影響

（国籍・人種・世代・ジェンダー、宗教、身体的特徴など、多様性を尊重・認め合う社会へ・・・）

⑤**社会資本の老朽化**への対応

（高度経済成長期に集中整備された社会資本の老朽化、維持・更新の課題・・・）

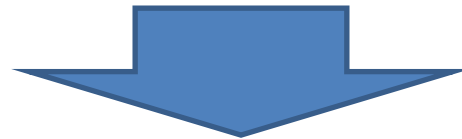
⑥**社会・経済・環境の諸課題の解決**に向けた統合的な取り組みの機運

（持続可能な開発目標SDGsの共有・・・）

アンケート結果からの主な課題①

○生涯学習活動への参加を妨げている原因の解消

- ・「仕事や家事が多忙」、「必要に迫られていない」、「費用がかかる」、「何を学べばよいか分からない」、「参加しやすい曜日・時間帯」、「情報が入手しづらい」などの理由により、生涯学習活動に参加できない人が多い。



阻害要因を取り除く必要がある

アンケート結果からの主な課題②

○個人や地域・社会のニーズに応じた 生涯学習メニューの充実

- ・生涯学習活動参加の手段として「サークルやグループなどでの活動」が全体では高いが、世代別では「民間の教室・講座」（50代・60代）、「ウェブサイトで検索・閲覧」（30代）が高い。
- ・今後参加してみたい活動として「健康・スポーツ」「趣味・芸術」「教養」が全体では高いが、世代別では「仕事に必要な知識、技能」（30代）で高い。



学習の手段・ニーズに多様性がある

アンケート結果からの主な課題③

○多摩市の生涯学習の取り組みの 認知度の向上

- ・市の生涯学習に関する取り組みについて「知らなかった」割合が高い。



生涯学習活動に関する意識啓発も
含めて対応が必要

「健幸まちづくりの推進」に向けての重点課題①

多摩市では令和元年6月に「第五次多摩市総合計画 第3期基本計画」を作りました。

総合計画とは、市のまちづくりの方向性を総合的に示す計画です。



「健幸まちづくりの推進」に向けての重点課題②

3つの重点課題

1. 超高齢化社会への挑戦
2. 若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるまちの
基盤づくり
3. 市民・地域と行政との新たな協働の仕組みづくり

(第五次多摩市総合計画 第3期基本計画の重点課題)

「健幸まちづくりの推進」に向けての重点課題③

多摩市では「心身ともに健康で、それぞれに生きがいを感じ、安心・安全に暮らすことができ、子育て中の方、障害のある方、子どもから高齢者まで、誰もが幸せを実感できるまちづくり」を目指しています。



生涯学習を通して、誰もが自由に学び、成果を活かせる社会を実現することが求められています。

第4次多摩市生涯学習推進計画策定に向けて

繰り返しになりますが
本日のワークショップの意見を、
令和3年度からはじまる

第4次多摩市生涯学習推進計画の
策定に活かしてまいります。

ぜひ**多様なご意見**を出して
いただけるようお願いいたします。

